

Ⅱ 主な事業

【査定】欄の記載の意味

- ・経費の精査：事業費の積算根拠となる数量や単価等を精査したもの
- ・事業内容の精査：事業の必要性や実施手法等を精査したもの

備考欄の記載の意味

- ・充当率：市債が発行できる対象事業費に対する市債の割合
- ・措置率：市債の対象事業費に対する地方交付税措置の割合

※予算額は各事業の予算額から関連予算額を抜き出した金額のため、「Ⅰ 予算の概要」「Ⅲ 資料」に掲載している各事業の予算額とは一致しない場合があります。

1 感染症の脅威から市民を守り、 新たな日常への転換を進めていくまちづくり

●:新規事業
○:レベルアップ事業

単位：千円

ページ 番号	事業名	R 3 当初予算	R 3.1 定補正予算	所管部
20	● 行政事務センター運営	99,000	-	総) 行政部
21	○ マイナンバーカード普及促進関連	221,720	932,558	総) スマートシティ推進部
22	● 区役所窓口サービスアップ関連	26,000	-	総) スマートシティ推進部、(市) 地域振興部
23	● 庁内ネットワーク再構築	436,000	-	総) 情報システム部
24	各種施設等感染症対策関連	526,000	1,377,000	各部
25	検査体制等確保対策関連	2,904,000	-	(保) 保健所、(保) 衛生研究所
26	新型コロナウイルス感染症対策支援	200,000	-	(保) 保健所
27	○ 中小企業融資関連	138,182,000	-	(経) 産業振興部
28	○ GIGAスクール構想推進関連	775,000	352,000	教) 生涯学習部
29	● テレワーク環境整備	-	750,000	総) 行政部
30	● 新型コロナウイルス検査支援	-	595,000	(保) 高齢保健福祉部 (保) 障がい保健福祉部 (保) 保健所
31	● 新型コロナウイルス感染症予防接種	-	9,502,000	(保) 保健所
32	商業者グループ販売促進支援	-	510,000	(経) 産業振興部
33	○ 国内観光振興	-	155,000	(経) 観光・MICE推進部
34	● 宿泊施設支援関連	-	1,114,000	(経) 観光・MICE推進部

2 子どもを生き育てやすく、 誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり

35	○ 公共交通ネットワーク確保対策	2,450,000	-	政) 総合交通計画部
36	● 介護サービス提供体制整備促進補助	974,000	-	(保) 高齢保健福祉部
37	● 民間公共的施設バリアフリー化推進	31,000	-	(保) 障がい保健福祉部

2 子どもを生き育てやすく、 誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり

●:新規事業
○:レベルアップ事業

単位:千円

ページ 番号	事業名	R3当初予算	R3.1定補正予算	所管部
38	● 第3次札幌市児童相談体制強化プラン関連	72,000	-	子) 子ども育成部、子) 児童相談所
39	保育所等整備関連	4,848,000	-	子) 子育て支援部
40	○ 仮称) 第二児童相談所整備	242,000	-	子) 児童相談所
41	除雪	21,404,266	298,000	建) 土木部
42	学校施設整備関連	7,040,000	635,000	教) 生涯学習部
43	公立夜間中学関係	46,000	-	教) 学校教育部

3 魅力活力にあふれ、 困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり

44	再開発事業関連	6,449,000	226,000	政) 政策企画部、政) 都市計画部
45	冬季オリンピック・パラリンピック招致関連	352,000	-	ス) 招致推進部
46	札幌ドーム周辺活用推進	37,000	-	ス) 招致推進部
47	東京2020オリンピック・パラリンピック開催	813,000	-	ス) 招致推進部
48	仮称) 動物愛護センター整備	41,000	-	保) 保健所
49	○ 企業立地促進	722,000	-	経) 産業振興部
50	○ IT・DX推進関連	25,000	-	経) 産業振興部
51	○ スタートアップ創出支援	58,000	-	経) 産業振興部
52	● バイオベンチャー育成支援	150,000	-	経) 産業振興部
53	○ MICE推進	163,000	-	経) 観光・MICE推進部
54	○ 水素エネルギー利活用事業	10,000	-	環) 環境都市推進部
55	● 森林整備関連	21,000	-	建) みどりの推進部

当初計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

総) 行 政 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
行政事務 センター運営	0 (0)	121,389 (121,389)	99,000 (99,000)		①【新規】申請受付等委託 ②【新規】調査・選定支援業務 ③【新規】申請ポータル サイト運営等	0	77,189	76,000	【債務負担行為】 システム・サーバ等保守 限度額:6,000 期間:R4年度 行政事務センター運営 限度額:152,000 期間:R4~5年度
目的・取組内容									
申請受付など専門性を必要としない業務を取り扱う「行政事務センター」の開設及び電子申請を推進するための申請ポータルサイトの開設等									
					計	0	121,389	99,000	

事業内容

- ①【新規】申請受付等委託 77,189 → 76,000 【査定】経費の精査
民間業者でも代替可能な、申請等の受付やシステムへのデータ入力などの集約化・委託化
<委託予定業務>
・児童手当の現況届受付 ・奨学金の申請受付
・医療助成受給者証の年次更新事務等 ・敬老優待乗車証の新規発行受付
・就学援助の申請受付 ・その他追加業務(10業務程度を想定)
- ②【新規】調査・選定支援業務 20,000 → 11,000 【査定】経費の精査
行政事務センターに委託可能な業務選定の支援
- ③【新規】申請ポータルサイト運営等 24,200 → 12,000 【査定】経費の精査
■ポータルサイトの運営 6,292 → 1,000
各種手続きの案内に特化した申請ポータルサイトの開設
■Webフォーム作成・保守 17,908 → 11,000
各種手続きの電子申請に関するWebフォームの作成

当初・補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
---------	--------------------------------------

総) スマートシティ推進部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	(参考)	
			事業費	特定財源					補正分	15か月予算
マイナンバーカード 普及促進関連	7,516 (0)	1,154,278 (34,195)	221,720 (5,374)	216,346	①【新規】マイナンバーカードセンター開設・運営 ②【拡充】出張申請受付	0 7,516	296,311 857,967	56,000 165,720	240,311 692,247	296,311 857,967
目的・取組内容										
土日や平日夜間もマイナンバーカードに係る手続き全般が可能なマイナンバーカードセンターの開設及び出張申請受付の拡充										
					計	7,516	1,154,278	221,720	932,558	1,154,278

事業内容	備考
------	----

①【新規】マイナンバーカードセンター開設・運営 296,311 → 56,000【査定】1定補正で240,311千円計上

項目	当初・・・A			補正(切り出し)・・・B			15か月予算 (A+B)
	事業費	国費	一財	事業費	国費	一財	
コールセンター	0	0	0	103,705	103,705	0	103,705
申請サポート	0	0	0	58,723	58,723	0	58,723
人件費 (会計年度任用職員18名等)	50,626	50,626	0	0	0	0	50,626
カードセンター運営管理費	2,340	0	2,340	38,441	38,441	0	40,781
予約・交付管理システム等整備	0	0	0	22,597	22,597	0	22,597
造作費	3,034	0	3,034	16,845	16,845	0	19,879
合計	56,000	50,626	5,374	240,311	240,311	0	296,311

【マイナンバーカードセンターの概要】
 ・開設時期: R3.8月頃
 ・営業時間: 平日 12時～20時、土日 9時～17時
 ・場所: 小暮ビル(中央区北3条西3丁目)
 ・可能な手続き
 カード受取などマイナンバーカードに係る手続き全般
 申請サポートも実施
 ・原則予約制

【特定財源】
 国庫補助金
 個人番号カード交付
 事務費
 (補助率: 10/10)
 【マイナンバーカード
 想定交付率】
 R2.12.1時点 20.8%
 R2年度末 29.22%
 R3年度末 64.42%
 R4年度末 100%

②【拡充】出張申請受付 857,967 → 165,720【査定】1定補正で692,247千円計上

項目	当初・・・A			補正(切り出し)・・・B			15か月予算 (A+B)
	事業費	国費	一財	事業費	国費	一財	
出張申請受付等	0	0	0	444,212	444,212	0	444,212
マイナンバーカード送付	0	0	0	219,214	219,214	0	219,214
人件費 (会計年度任用職員74名等)	165,720	165,720	0	0	0	0	165,720
カード説明書印刷等	0	0	0	28,821	0	28,821	28,821
合計	165,720	165,720	0	692,247	663,426	28,821	857,967

【出張申請受付の概要】
 ・人員体制: 会計年度任用職員1～3名/会場
 委託業者1～5名/会場
 ・実施想定会場: 区民センター、まちづくりセンター、
 運転免許センター、ショッピングセンター等
 ・実施想定回数: 約950回、約120会場

【マイナンバーカード
 交付想定枚数(ひと月当たり)】
 区役所(平日) 25,250 枚
 区役所(土日) 2,000 枚
 マイナンバー
 カードセンター 2,200 枚
 出張申請受付 28,750 枚
 合計 58,200 枚

当初計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

総)スマートシティ推進部
市)地域振興部
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
区役所窓口 サービスアップ関連	0 (0)	57,000 (57,000)	26,000 (26,000)		①【新規】窓口案内業務 の強化	0	29,950	16,059	
					②【新規】諸証明書交付 機設置	0	11,550	5,441	
					③【新規】区役所の待合 環境改善	0	15,500	4,500	
目的・取組内容									
区役所窓口におけるサービス向上に向けた諸取組									
					計	0	57,000	26,000	

事業内容

<p>①【新規】窓口案内業務の強化 市)地域振興部 ■総合案内、おくやみ窓口の試行設置(3区 → 2区) 窓口コンシェルジュの配置及び死亡後に必要な手続きの案内や書類作成の支援を行う窓口を設置</p> <p>総)スマートシティ推進部 ■「くらしの手続きガイド」開設 個人の状況に応じて必要な手続きや書類等の情報を案内する、インターネットサイト「くらしの手続きガイド」を開設</p> <p>②【新規】諸証明書交付機設置 マイナンバーカードを用いて印鑑証明及び住民票の発行が可能な交付機を試行設置(7区 → 2区)</p> <p>市)地域振興部 ③【新規】区役所の待合環境改善 空間デザインの専門家の意見を取り入れ、落ち着いた過ごることができる待合空間等を創出するための環境整備(3区 → 2区)</p>	<p>29,950 → 16,059 【査定】事業内容の精査</p> <p>27,794 → 14,500</p> <p>2,156 → 1,559</p> <p>11,550 → 5,441 【査定】事業内容の精査</p> <p>15,500 → 4,500 【査定】事業内容の精査</p>
--	--

当初計上

1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり

総) 情報システム部

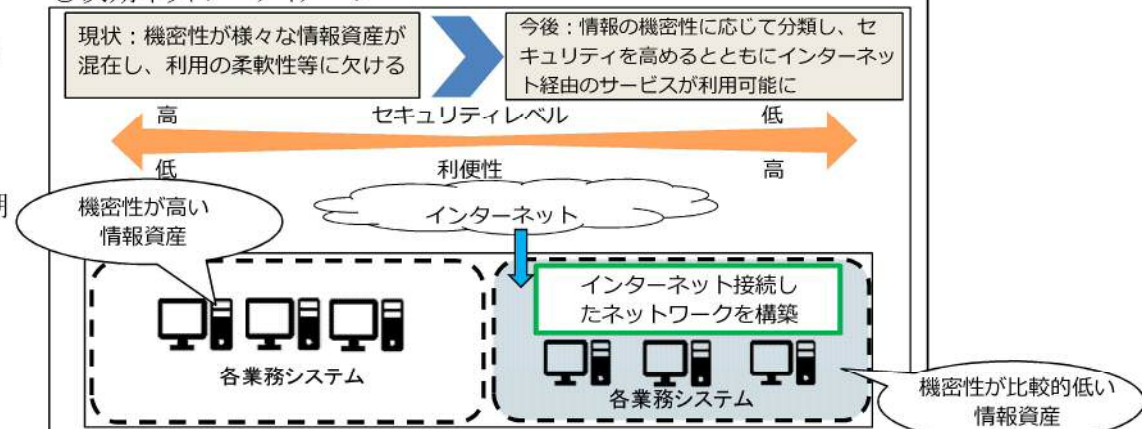
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
庁内ネットワーク再構築	0 (0)	455,764 (455,764)	436,000 (436,000)		①【新規】次期ネットワーク再構築検討・設計 ②【新規】グループウェア更改設計等 ③【新規】アクティブディレクトリ再構築	0	253,429	244,052	【債務負担行為】 ネットワーク再構築関係等業務 限度額:90,000 期間:R4年度 【総事業費】 事業期間 R3~R7 事業費 約71億円
目的・取組内容									
取り扱う情報の機密性に応じてイントラネットを分割するための、庁内ネットワークシステムの再構築									
					計	0	455,764	436,000	

事業内容

- ①【新規】次期ネットワーク再構築検討・設計
253,429 → 244,052 【査定】経費の精査
クラウドやインターネットの利用が可能など利便性が高く、かつセキュリティ要件を満たした庁内ネットワーク再構築の検討
- ②【新規】グループウェア更改設計等
152,194 → 144,248 【査定】経費の精査
メール、Web会議等の庁内外コミュニケーションの基盤となる次期グループウェアの設計構築
- ③【新規】アクティブディレクトリ再構築
50,141 → 47,700 【査定】経費の精査
ネットワーク機器、ユーザー管理のシステムであるアクティブディレクトリを、次期グループウェア等の構成を踏まえ再構築

○次期ネットワークイメージ



再構築による効率化等の内容

- 組織間を横断したチーム編成と情報共有が可能となり、プロジェクト立ち上げ、運用が容易に
- オンライン会議やチャット、リアルタイム共同作業、クラウドストレージ、メールボックスサイズの拡充など
- インターネットからソフトウェアの更新や最新ツールの導入、ファイルダウンロードなどが迅速化

○スケジュール

検討	物品調達・構築	運用開始		
	R2	R3	R4	R5
検討・設計				
通信線				
次期GW	R4まで継続		先行開始	
AD再構築				

当初・補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
---------	--------------------------------------

各 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	(参考)	
			事業費	特定財源					補正分	15か月予算
各種施設等 感染症対策関連	0 (0)	1,903,000 (634,613)	526,000 (11,688)	国庫支出金	① 感染症対策備品の購入等	0	1,258,480	0	1,258,480	1,258,480
				道支出金						
目的・取組内容				計						
市内各種施設における新型コロナウイルス感染症対策				計		0	1,903,000	526,000	1,377,000	1,903,000

事業内容

備考

① 感染症対策備品の購入等 1,258,480 → 0 【査定】1定補正で1,258,480千円計上

市内各種施設における感染症対策備品の購入費等

所管部	対象施設	施設数	金額
地域振興部	地域コミュニティ施設	36	8,000
文化部	文化施設	10	3,000
スポーツ部	体育施設等	35	24,000
子ども育成部	児童会館等	271	109,000

所管部	対象施設	施設数	金額
子育て支援部	保育所等	967(※1)	670,000
児童相談所	児童養護施設等	48(※2)	29,480
生涯学習部	生涯学習施設、学校、幼稚園	323	415,000

※1 ほかに一時預かり等あり(1,022事業)

※2 ほかに里親あり(148世帯)

【特定財源】
国庫補助金
障害者総合支援事業費…A
(補助率:10/10)
障害者施設整備費…B
(補助率:1/2、10/10)
道補助金
高齢者施設整備費…C
(補助率:10/10)

② かかり増し経費、施設改修補助等 644,520 → 526,000 【査定】1定補正で118,520千円計上

所管部	事業内容	対象施設	施設数	金額	予算計上	特財
高齢保健福祉部	感染症対策のためのかかり増し経費の補助	介護サービス事業所等	60	228,000	当初	C
	施設改修費の補助(簡易陰圧装置)		45	203,000	当初	
障がい保健福祉部	感染症対策のためのかかり増し経費の補助	障がい福祉サービス事業所等	120	60,000	当初	A
	施設改修費の補助(多床室個室化、簡易陰圧装置)		11	62,000	補正	
児童相談所	テレワーク・ロボット導入支援		64	35,000	当初	B
	感染症対策のためのかかり増し経費の補助	児童養護施設、乳児院	6	45,000	補正	
	施設改修費の補助(児童用居室の個室化)	児童相談所(一時保護所)	-	11,520	補正	
	臨時一時保護所における看護師配置				補正	

当初計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

保) 保 健 所
保) 衛 生 研 究 所
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
検査体制等 確保対策関連	0 (0)	5,742,023 (3,237,959)	2,904,000 (897,044)	236,520	① 相談体制整備	0	353,000	177,000	【特定財源】 保健福祉費手数料 衛生研究所手数料 …⑥ ※ウイルス遺伝子検査分 16,200円/件 国庫負担金 感染症予防費 (負担率:1/2) …②、③の一部、④、 ⑤の一部 道補助金 新型コロナウイルス感 染症緊急対策費 (補助率:10/10) …①、⑤の一部 感染症検査機関等設 備整備費 (補助率:10/10) …⑥の検査機器等
目的・取組内容				使用料及び手数料	② PCR検査センター運 営	0	254,691	126,000	
				国庫支出金	③ 検査手数料等	0	3,507,438	1,753,500	
				道支出金	④ 検体搬送等	0	107,000	53,500	
				計	⑤ 患者移送等	0	1,377,000	689,000	
新型コロナウイルス感染症対策のための相談・検査・移送等				2,006,956	⑥ 検査用消耗品、検査 機器等	0	142,894	105,000	
事業内容					計	0	5,742,023	2,904,000	
保)保健所									
① 相談体制整備 353,000 → 177,000 【査定】経費の精査									
■ 一般電話相談窓口[8:45~21:00、8~11名体制] 94,000 → 47,000									
■ 受診・相談センター(救急安心センターさっぽろ)[24時間、5~27名体制] 259,000 → 130,000									
② PCR検査センター運営 254,691 → 126,000 【査定】経費の精査									
PCR検査センター(市内3か所)の運営									
・ 1か所当たり100件/日の検体採取が可能									
③ 検査手数料等 3,507,438 → 1,753,500 【査定】経費の精査									
・ 想定検査件数:800件/日									
④ 検体搬送等 107,000 → 53,500 【査定】経費の精査									
■ 検体搬送委託:午前午後各3台 26,000 → 13,000									
■ 郵送唾液検査キット作成・配達委託等(205件/日) 81,000 → 40,500									
⑤ 患者移送等 1,377,000 → 689,000 【査定】経費の精査									
陽性患者、疑い患者の移送(自宅、病院、宿泊施設間)等									
・ 25台~80台体制									
保)衛生研究所									
⑥ 検査用消耗品、検査機器等 142,894 → 105,000 【査定】経費の精査									
・ 検査用試薬等(想定検査件数:80件/日) 100,541 → 62,647									
・ 検査機器等 42,353									

当初計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

保) 保 健 所
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源 繰入金					
新型コロナウイルス感染症対策支援	0 (0)	200,000 (0)	200,000 (0)	200,000	① 感染症対策支援	0	200,000	200,000	【特定財源】 基金繰入金 新型コロナウイルス感染症対策支援基金
目的・取組内容									
新型コロナウイルス札幌ささえあい基金を活用した、感染症対策支援									
					計	0	200,000	200,000	

事業内容

① 感染症対策支援 200,000 → 要求のとおり
新型コロナウイルス札幌ささえあい基金を活用した感染症対策

<R2年度の活用見込み>

発熱外来補助	1,000千円×203施設=203,000千円
観光施設サーマルカメラ等整備	53,400千円(市購入23台、民間補助10施設)

できることは、まだある。

SAPP-COVID-19

新型コロナウイルス

札幌
ささえあい
基金

札幌市では、
新型コロナウイルスの影響による
様々な課題に対する取組を支援していくため、
寄付を募集しています。
多くの皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

寄付に関するお問い合わせ

電話 011-211-2964

パソコン 札幌ささえあい基金
https://www.city.sapporo.jp/somu/kifu/corona.html

当初計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

経) 産 業 振 興 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考																								
			事業費	特定財源																													
中小企業融資関連	64,251,000 (194,670)	169,533,000 (3,635,238)	138,182,000 (1,658,373)	136,523,627	① 一般中小企業振興資金等 ② 中小企業融資信用保証料補給・損失補償 ③ 新型コロナウイルス関連資金 ④ 【新規】新型コロナウイルス関連資金	62,411,000 251,000 1,589,000 0	48,880,000 246,000 61,679,000 58,728,000	48,333,000 227,000 57,507,000 32,115,000	【特定財源】 貸付金元利収入 中小企業金融対策資金 雑入 中小企業融資損失補償返還金 【債務負担行為】 新型コロナウイルス緊急資金貸付損失補償 67,000 限度額: 100,000 期間:R3~12年度 中小企業金融対策資金貸付損失補償 900,000 限度額: 800,000 期間:R3~20年度																								
目的・取組内容 中小企業に対する運転資金や設備資金の貸付、新型コロナウイルス感染症対応のための新たな資金の創設及び信用保証料の一部補給等の実施					計	64,251,000	169,533,000	138,182,000																									
事業内容																																	
① 一般中小企業振興資金等 48,880,000 → 48,333,000 【査定】経費の精査					④ 【新規】新型コロナウイルス関連資金 [新規融資枠:500億円] (R3年度創設分) 58,728,000 → 32,115,000 【査定】経費の精査																												
② 中小企業融資信用保証料補給・損失補償 246,000 → 227,000 【査定】経費の精査					■資金 55,556,000 → 30,865,000 ■保証料補給 3,172,000 → 1,250,000																												
③ 新型コロナウイルス関連資金 (R2年創設分) 61,679,000 → 57,507,000 【査定】経費の精査																																	
■資金 ・ 新型コロナウイルス対応支援資金 60,969,000 → 56,921,000 ・ 新型コロナウイルス緊急資金 453,000 → 365,000																																	
■利子補給 ・ 新型コロナウイルス緊急資金 12,000 → 7,000																																	
■損失補償 ・ 新型コロナウイルス対応支援資金 245,000 → 214,000																																	
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資金名</th> <th>【旧】新型コロナウイルス対応支援資金</th> <th>【新】新型コロナ対応サポート資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>融資限度額</td> <td>2億円</td> <td>1億 5,000万円</td> </tr> <tr> <td>資金用途</td> <td colspan="2">運転資金及び設備資金</td> </tr> <tr> <td>融資期間</td> <td colspan="2">10年以内(うち据置期間3年以内)</td> </tr> <tr> <td>融資利率</td> <td colspan="2">年1.0%以内</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td colspan="2">無し</td> </tr> <tr> <td>信用保証料補給</td> <td>企業が負担する信用保証料を本市が全額補給</td> <td>企業が負担する信用保証料の1/2以内を本市が補給</td> </tr> <tr> <td>取扱期間</td> <td>R2.2.10~R3.3.31</td> <td>R3.4.1~R3.12.31</td> </tr> </tbody> </table>		資金名	【旧】新型コロナウイルス対応支援資金	【新】新型コロナ対応サポート資金	融資限度額	2億円	1億 5,000万円	資金用途	運転資金及び設備資金		融資期間	10年以内(うち据置期間3年以内)		融資利率	年1.0%以内		利子補給	無し		信用保証料補給	企業が負担する信用保証料を本市が全額補給	企業が負担する信用保証料の1/2以内を本市が補給	取扱期間	R2.2.10~R3.3.31	R3.4.1~R3.12.31			
資金名	【旧】新型コロナウイルス対応支援資金	【新】新型コロナ対応サポート資金																															
融資限度額	2億円	1億 5,000万円																															
資金用途	運転資金及び設備資金																																
融資期間	10年以内(うち据置期間3年以内)																																
融資利率	年1.0%以内																																
利子補給	無し																																
信用保証料補給	企業が負担する信用保証料を本市が全額補給	企業が負担する信用保証料の1/2以内を本市が補給																															
取扱期間	R2.2.10~R3.3.31	R3.4.1~R3.12.31																															

当初・補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
---------	--------------------------------------

教) 生涯学習部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	(参考)	
			事業費	特定財源					補正分	15か月予算
GIGAスクール 構想推進関連	0 (0)	775,000 (735,075)	775,000 (735,075)	国庫支出金 39,925	① GIGAスクールサ ポーター	0	79,850	79,850	0	79,850
					② 【新規】教育用ソフト ウェア等	0	237,113	237,113	0	237,113
					③ 【新規】タブレット代替 機	0	187,694	187,694	0	187,694
					④ 【拡充】ネットワーク関 係	0	270,343	270,343	0	270,343
					⑤ 通信環境円滑化整備 等(R3.1定補正分)	0	0	0	352,000	352,000
					計	0	775,000	775,000	352,000	1,127,000
目的・取組内容										
令和3年度から開始する一人一台タブレット端末を使用した 授業に必要な各種経費										

事業内容	備考
① GIGAスクールサポーター 79,850 → 要求のとおり ・ 想定業務:授業でのICT機器活用補助、ICTを活用した授業構築の支援等(R3.10月までの半年間) ・ 頻度:各校月2回 ② 【新規】教育用ソフトウェア等 237,113 → 要求のとおり タブレット端末を用いた授業に使用する教育用ソフトを含む各種ソフトウェア等 ③ 【新規】タブレット代替機 187,694 → 要求のとおり 45,000円×138,856台(R3年度児童生徒数推計値)×3% ④ 【拡充】ネットワーク関係 270,343 → 要求のとおり ■ ネットワーク通信費等 130,093 無線LAN保守(129,012千円)、モバイルルータ通信料(1,081千円) ■ ネットワーク管理費 140,250 端末使用台数増加に伴い、端末の不具合対応等を行うヘルプデスクの体制強化(10人分追加) ⑤ 通信環境円滑化整備等(R3.1定補正分) 352,000 → 要求のとおり ■ 回線の接続方式の変更 304,320 各学校から回線を一旦集約してインターネットに接続する方式から、直接インターネットへ接続する方式に変更するための改修費 ■ 高校生等のタブレット端末・モバイルルータ整備 47,680 ・ 低所得世帯の高校生等に貸与するタブレット端末の購入費(37,170千円) ・ 通信環境がない高校生等に貸与するモバイルルータの購入費(10,510千円)	【特定財源】 国庫補助金 教育の情報化推進費 (補助率:1/2)・・・①

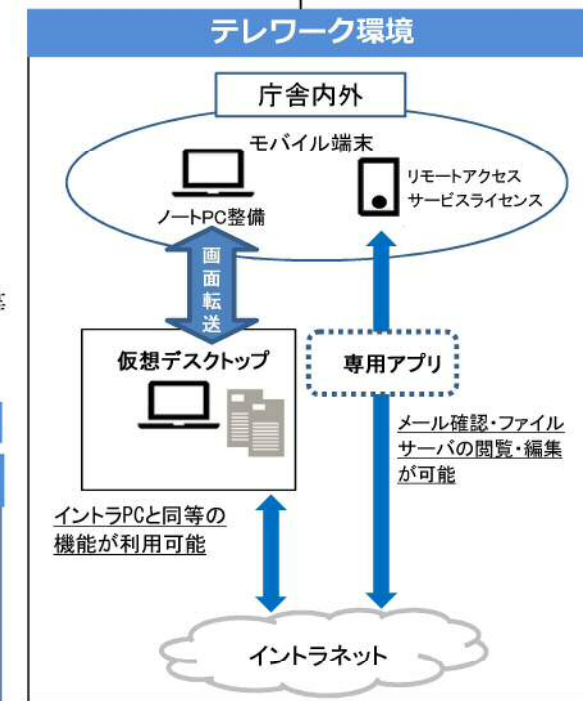
補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

総) 行 政 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算現額 (一般財源)	補正 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	予算現額	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
テレワーク 環境整備	0 (0)	750,000 (0)	750,000 (0)	750,000	①【新規】テレワーク環 境構築	0	750,000	750,000	補正前 補正後 0 → 750,000
目的・取組内容									【特定財源】 国庫交付金 新型コロナウイルス感 染症対応地方創生臨 時交付金 (交付率:10/10)
事業継続性の確保や業務効率化、働き方改革を目的と した、テレワーク環境推進									【繰越明許費】 750,000
事業内容					計	0	750,000	750,000	

- ①【新規】テレワーク環境構築 750,000 → 要求のとおり
- テレワーク基盤等構築費 475,265
ノートパソコン等から仮想デスクトップを操作可能にするための基盤構築及びライセンス費用等
 - 端末整備等 263,178
事業の継続が不可欠な部署等にノートパソコン約1,000台整備(既存端末の更新)
 - リモートアクセスサービスライセンス等 11,557
スマートフォン等のモバイル端末からイントラネットなどにアクセス可能なリモートアクセスサービスのライセンス費用等
・ライセンス数:更新760、追加100



テレワーク環境構築による効果

事業継続性の確保	業務の効率化・生産性の向上	働き方改革の促進
災害や感染症流行など緊急事態時においても事業の継続が不可欠な部署に配備し、事業継続性を確保	現場での作業や外勤が必要な部署等に配備し、業務の効率化を実現	在宅勤務時での活用など働き方改革を促進

補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

保) 高齢保健福祉部、
保) 障がい保健福祉部、保) 保健所
(単位: 千円)

事業名	2年度 予算現額 (一般財源)	補正 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	予算現額	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
新型コロナウイルス 検査支援	0 (0)	595,000 (0)	595,000 (0)	特定財源 国庫支出金 595,000	① 【新規】スクリーニング 検査支援	0	595,000	595,000	補正前 補正後 0 → 595,000
目的・取組内容									【特定財源】 国庫交付金 新型コロナウイルス感 染症対応地方創生臨 時交付金 (交付率:10/10)
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するための高 齢者施設や医療機関等における定期的な検査の実施									
					計	0	595,000	595,000	【繰越明許】 595,000

事業内容

① 【新規】スクリーニング検査支援 595,000 → 要求のとおり
重症化等のリスクの高い施設における職員等に対する予防的・定期的な検査の実施

保) 高齢保健福祉部

■ 高齢者施設 257,000 → 要求のとおり

対象施設	施設数	職員数	検査回数	期間	単価	金額
特別養護老人ホーム	91	7,000	1回/月	6か月	2,329円	97,818
介護老人保健施設	49	5,000				69,870
グループホーム	264	6,000				2,489円

<単価内訳>
・検査費: 2,200円
・配送料: 129円
(少量の場合290円)

保) 障がい保健福祉部

■ 障がい者施設 24,000 → 要求のとおり

対象施設	施設数	職員数	検査回数	期間	単価	金額
障害者支援施設・ 障害児入所支援施設	32	1,700	1回/月	6か月	2,329円	23,756

保) 保健所

■ 医療機関 314,000 → 要求のとおり

対象施設	施設数	職員数	検査回数	期間	単価	金額
療養型医療機関等	149	22,500	1回/月	6か月	2,329円	314,415

補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

保) 保 健 所
(単位:千円)

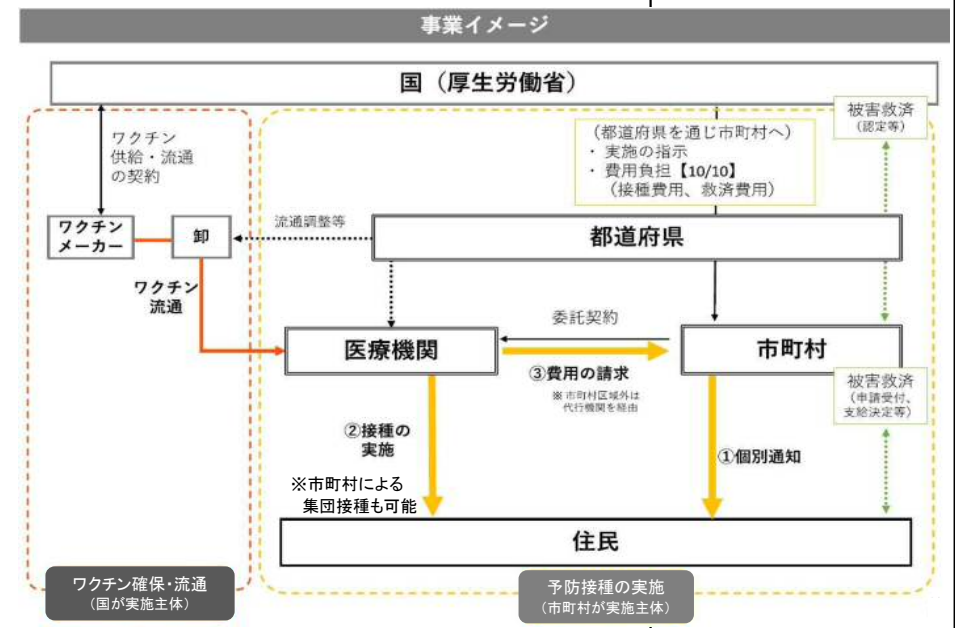
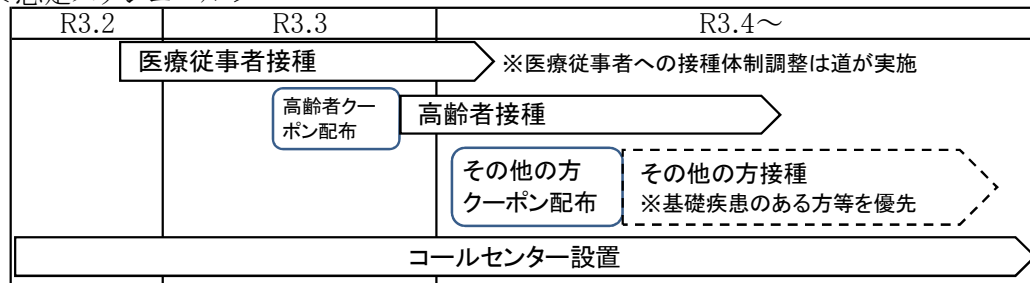
事業名	2年度 予算現額 (一般財源)	補正 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	予算現額	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
新型コロナウイルス感染症予防接種	1,613,000 (0)	9,502,000 (0)	9,502,000 (0)	国庫支出金 9,502,000	① 【新規】接種費用 ② 事務費等	0 1,613,000	9,087,540 414,460	9,087,540 414,460	補正前 補正後 1,613,000 → 11,115,000 【特定財源】 国庫負担金 新型コロナウイルスワクチン接種対策費 (負担率:10/10)…① 国庫補助金 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保 事業費 (補助率:10/10)…②
目的・取組内容									
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種									
事業内容					計	1,613,000	9,502,000	9,502,000	

- ① 【新規】接種費用 9,087,540 → 要求のとおり
 ・ 197万人×2回×2,277円(全国一律)=8,971,380千円
 ・ 乳幼児加算:8万人×2回×726円(全国一律)=116,160千円
- ② 事務費等 414,460 → 要求のとおり
 コールセンター:令和3年度後半の接種も見据えた期間延長
 ※6臨補正:R3. 3~R3. 9(80~160名)→1定補正後:R3. 2~R4. 3(40~160名)

【住民基本台帳人口】
札幌市民 1,961,575人
(令和3年1月1日時点)

【繰越明許】
9,502,000

<想定スケジュール>



補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

経) 産 業 振 興 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算現額 (一般財源)	補正 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	予算現額	要求	査定	備考																		
			事業費	特定財源																							
商業者グループ 販売促進支援	570,000 (0)	510,000 (0)	510,000 (0)	特定財源 国庫支出金 510,000	① 販売促進支援	570,000	510,000	510,000	補正前 補正後 570,000 → 1,080,000																		
目的・取組内容									【特定財源】 国庫交付金 新型コロナウイルス感 染症対応地方創生臨 時交付金 (交付率:10/10)																		
市内の中小事業者のグループによる、デジタルやオンライン を活用した販売促進活動に対する支援									【繰越明許費】 510,000																		
事業内容																											
<p>① 販売促進支援 510,000 → 要求のとおり 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小事業者の売上向上と、ウィズコロナ時代に即した販売促進活動の定着を図るため、「デジタル」や「オンライン」を活用した販売促進に取り組む事業者に対する支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数:10グループ ・補助対象業種:飲食・小売・生活関連サービス業等を営む中小事業者 ・補助対象経費:広告宣伝費・クーポン費(プレミアム率は上限30%)・事務費等 ・補助額:上限30,000~90,000千円(構成員数に応じて変動) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>(取組例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル商品券の発行 ・クラウドファンディングの組成 </div> <p>《補助区分》</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>構成員数</th> <th>補助上限額</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300事業者以上</td> <td>90,000千円</td> <td>2</td> <td>180,000千円</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">10/10</td> </tr> <tr> <td>200事業者以上</td> <td>60,000千円</td> <td>3</td> <td>180,000千円</td> </tr> <tr> <td>100事業者以上</td> <td>30,000千円</td> <td>5</td> <td>150,000千円</td> </tr> </tbody> </table>										構成員数	補助上限額	件数	事業費	補助率	300事業者以上	90,000千円	2	180,000千円	10/10	200事業者以上	60,000千円	3	180,000千円	100事業者以上	30,000千円	5	150,000千円
構成員数	補助上限額	件数	事業費	補助率																							
300事業者以上	90,000千円	2	180,000千円	10/10																							
200事業者以上	60,000千円	3	180,000千円																								
100事業者以上	30,000千円	5	150,000千円																								

補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

経) 観光・MICE 推進部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算現額 (一般財源)	補正 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	予算現額	要求	査定	備考					
			事業費	特定財源										
国内観光振興	373,000 (26,000)	468,000 (468,000)	155,000 (0)	国庫支出金 155,000	① 道外BtoBプロモーション等 ② 観光客誘致プロモーション ③ 【新規】新たな旅行スタイル推進 ④ 【新規】教育旅行誘致 ⑤ その他 計	17,000 16,000 0 0 340,000 373,000	3,000 30,000 10,000 425,000 0 468,000	3,000 30,000 9,000 113,000 0 155,000	補正前 補正後 373,000 → 528,000 【特定財源】 国庫交付金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (交付率:10/10) 【繰越明許】 155,000					
目的・取組内容														
新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済活動を両立するための国内観光誘致に係る事業等の実施														
事業内容														
① 道外BtoBプロモーション等 3,000 → 要求のとおり 道外の旅行会社等に対する札幌観光プロモーション等 ② 観光客誘致プロモーション 30,000 → 要求のとおり 道内外に向けた札幌観光プロモーションの実施 ③ 【新規】新たな旅行スタイル推進 10,000 → 9,000 【査定】経費の精査 ワークーションに積極的な首都圏企業とタイアップした札幌でのモデルツアーの実施等 ④ 【新規】教育旅行誘致 425,000 → 113,000 【査定】事業内容の精査 新型コロナウイルス感染症の拡大により旅行先の変更等を検討している学校に対する新たな教育旅行支援の実施等 ・ 地下鉄及び路面電車1日乗車券配布:約150,000人×1,330円 199,000 → 0 ・ 事務局経費 6,000 → 0 ・ 教育旅行向けプログラム造成 20,000 → 16,000 ・ 教育旅行貸切バス助成: 200,000 → 97,000 市内に宿泊し、教育旅行を実施する学校に対して貸切バス料金助成を実施										※BtoB(Business to Business):企業間取引を意味し、企業が企業に向けて商品やサービスを提供する取引を指す。				

補正計上	1 感染症の脅威から市民を守り、新たな日常への転換を進めていくまちづくり
------	--------------------------------------

経) 観光・MICE 推進部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算現額 (一般財源)	補正 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	予算現額	要求	査定	備考															
			事業費	特定財源																				
宿泊施設支援関連	0 (0)	1,114,000 (0)	1,114,000 (0)	1,114,000	①【新規】宿泊施設感染症対策 ②【新規】誘客促進支援	0 0	91,000 1,023,000	91,000 1,023,000	補正前 補正後 0 → 1,114,000 【特定財源】 国庫交付金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (交付率:10/10) 【繰越明許費】 1,114,000															
目的・取組内容																								
新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済活動を両立するための宿泊施設が実施する感染症対策や誘客促進に係る経費の補助																								
事業内容																								
①【新規】宿泊施設感染症対策 91,000 → 要求のとおり 市内宿泊施設が取り組む感染症対策等に係る経費の補助 ・ 備品購入:補助上限400千円、100件、補助率10/10 40,000 (例:パーテーション、自動噴霧器、ワーケーション推進のために必要な備品等) ・ 設備整備・改修:補助上限5,000千円、10件、補助率1/2 50,000 (例:非接触チェックイン機、キーレスシステム、ワーケーション利用者のための無料Wi-Fiの導入等) ・ 広報・運営委託 1,000 ②【新規】誘客促進支援 1,023,000 → 要求のとおり 市内宿泊施設業界団体が行う誘客策への支援を実施 (例:誘客イベントの実施、宿泊者向け割引クーポン発行、コンテンツ開発等)																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補助対象団体</th> <th>補助上限額(A)</th> <th>想定件数(B)</th> <th>合計(A×B)</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホテル・旅館等 業界団体</td> <td>330,000千円</td> <td>3件</td> <td>990,000千円</td> <td>10/10</td> </tr> <tr> <td>民泊施設業界団体</td> <td>33,000千円</td> <td>1件</td> <td>33,000千円</td> <td>10/10</td> </tr> </tbody> </table>										補助対象団体	補助上限額(A)	想定件数(B)	合計(A×B)	補助率	ホテル・旅館等 業界団体	330,000千円	3件	990,000千円	10/10	民泊施設業界団体	33,000千円	1件	33,000千円	10/10
補助対象団体	補助上限額(A)	想定件数(B)	合計(A×B)	補助率																				
ホテル・旅館等 業界団体	330,000千円	3件	990,000千円	10/10																				
民泊施設業界団体	33,000千円	1件	33,000千円	10/10																				

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
公共交通ネットワーク 確保対策	760,000 (760,000)	3,065,000 (3,065,000)	2,450,000 (2,450,000)		① 【拡充】乗合バス路線 維持補助	739,622	3,040,000	2,426,000	
					② バス路線維持審査会 等	8,657	6,308	6,308	
					③ 地域交通体系に係る 検討	7,841	15,092	14,092	
					④ 公共交通利用促進	3,880	3,600	3,600	
					計	760,000	3,065,000	2,450,000	
目的・取組内容									
バス路線維持に係る補助、交通体系確立に向けた基本的な方針の策定、公共交通利用促進策を活用した公共交通ネットワークの維持確保									

事業内容

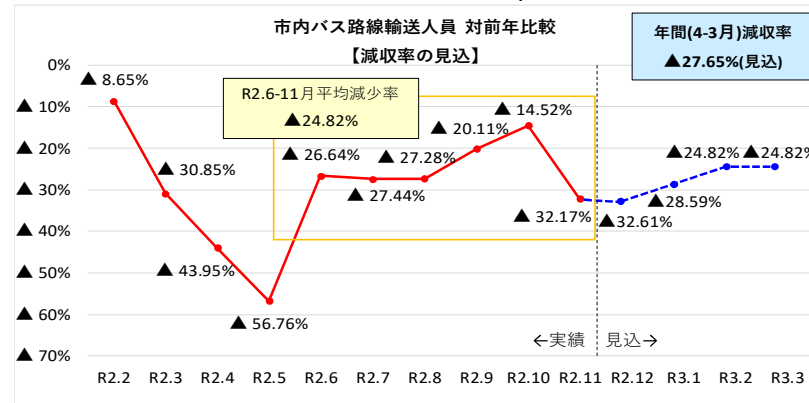
- ① 【拡充】乗合バス路線維持補助 3,040,000 → 2,426,000 【査定】事業内容の精査
 ■ 現行制度分(R2年度分) 2,492,259 → 2,029,535
 ■ 要件緩和分(ルールとして、経常収益対前年度比10%以上減の際に適用する)
 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたR2年度分のみ例外的措置
 ・ 単年度赤字影響分 334,750 → 227,201
 ・ 輸送量下限・上限影響分 212,991 → 169,264

- ② バス路線維持審査会等 6,308 → 要求のとおり
 補助制度の運用を行う審査会や協議関係費等

- ③ 地域交通体系に係る検討 15,092 → 14,092 【査定】経費の精査
 デマンド交通実証実験にかかる車両購入費の補助や地域交通導入の検討等

- ④ 公共交通利用促進 3,600 → 要求のとおり
 小学校向け副読本・教師向け指導書、研究授業支援

【乗合バス路線維持補助金(現行制度 H21.11基準制定)】
 市内完結路線を運行する民間バス事業者に対し、本市からの移行系統、
 移行系統外に対する赤字分をそれぞれ補助※
 ■ 移行系統分 → 単年度赤字となっている系統
 ■ 移行系統外分 → 過去3か年いずれも赤字となっている系統
 ※輸送量の下限(15人以上)、上限(150人以下)などの補助対象要件あり



当初計上	2 子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり
------	-------------------------------------

保) 高齢保健福祉部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
介護サービス 提供体制整備 促進補助	45,000 (0)	974,000 (0)	974,000 (0)	特定財源 道支出金 974,000	①【新規】広域型施設の大規模修繕・耐震化支援	0	112,800	112,800	【特定財源】 道補助金 高齢者施設整備費 (補助率:10/10)
目的・取組内容					②【新規】介護職員宿舎整備支援	0	78,976	78,976	
介護離職ゼロのために介護施設等の整備を促進するほか、介護サービスの質の向上や介護人材の確保に向けて必要な事業を支援					③【新規】介護ロボット・ICT導入支援	0	626,640	626,640	
					④【新規】看取り環境整備支援	0	136,500	136,500	
					⑤ 多床室改修支援	45,000	19,084	19,084	
					計	45,000	974,000	974,000	
事業内容									
<p>①【新規】広域型施設の大規模修繕・耐震化支援 112,800 → 要求のとおり 介護施設等の新規整備を条件に広域型施設の大規模修繕・耐震化について補助 1定員当たり単価1,128千円 × 100床(1施設) = 112,800千円</p> <p>②【新規】介護職員宿舎整備支援 78,976 → 要求のとおり 介護人材を確保するため、介護施設等が宿舎を整備する費用の1/3の補助(3施設)</p> <p>③【新規】介護ロボット・ICT導入支援 626,640 → 要求のとおり 介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICT導入の補助 1定員当たり単価420千円 × 1,492床(49施設) = 626,640千円</p> <p>④【新規】看取り環境整備支援 136,500 → 要求のとおり 介護施設等の看取り環境整備のため、看取り及び家族等の宿泊のための個室確保を目的として行う施設改修費の補助 1施設あたり単価3,500千円 × 39施設 = 136,500千円</p> <p>⑤ 多床室改修支援 19,084 → 要求のとおり 居住環境の質を向上させるために建具や壁等の設置など、プライバシー保護のための改修を行う費用の補助 1定員当たり単価734千円 × 26床(4施設) = 19,084千円</p>									

当初計上	2 子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり
------	-------------------------------------

保) 障がい保健福祉部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
民間公共的施設 バリアフリー化推進	31,000 (7,273)	31,000 (31,000)	31,000 (31,000)		① 【新規】民間施設バリアフリー化補助等 ② 民間施設改善資金貸付金 ③ 民間事業者意向調査	0 24,143 6,857	31,000 0 0	31,000 0 0	
目的・取組内容									
障がいのある方等が身近に利用する民間公共的施設におけるバリアフリー化改修工事に対する補助等									
					計	31,000	31,000	31,000	

事業内容

① 【新規】民間施設バリアフリー化補助等 31,000 → 要求のとおり
障がいのある方等が利用する2,000㎡未満の身近な公共的施設におけるバリアフリー化改修工事に対する補助

■ 民間施設への補助

30,000

・ 補助対象施設

対象業種	対象施設(例)
病院又は診療所	病院、診療所、歯科医院等
物品販売業を営む店舗	マーケット、コンビニエンスストア等
飲食店	レストラン、食堂、喫茶店等
サービス業を営む店舗	美容室、銀行等

・ 補助金の内容

補助上限:1,500千円

補助率:3/4(R5年度まで)

(民間施設のバリアフリー化を加速するため、時限的に

高い補助率を設定)

補助想定件数:20件程度

・ 補助対象経費(福祉のまちづくり条例の整備基準を満たす改修に係る費用のうち要綱で定めるもの)

整備項目	内容(例)
段差解消	スロープの設置等
出入口の改修	出入口の自動ドア化等
経路上の手すりの設置	階段、廊下、傾斜路への手すりの設置等
経路上の幅の確保(拡幅)	敷地内通路、廊下、出入口の拡幅等
トイレの改修	多機能トイレ化、手すりの設置、ユニバーサルシートの設置等
案内用設備の設置	点字ブロック、光・文字・音声等の設備を併設した非常警報装置の設置等
車いす使用者用駐車場	ライン塗装、車いす使用者用駐車場である旨を示す案内標識の設置

■ 普及啓発

1,000

当初計上	2 子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり
------	-------------------------------------

子) 子ども育成部
子) 児童相談所
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
第3次札幌市 児童相談体制 強化プラン関連	0 (0)	77,000 (71,000)	72,000 (66,000)	6,000	①【新規】困難を抱える 若年女性支援 ②【新規】子育てデータ管 理プラットフォーム構築	0 0	12,000 65,000	12,000 60,000	【特定財源】 国庫補助金 児童福祉事業等対策 費 (補助率:1/2)…① 【債務負担行為】 困難を抱える若年女性 支援 限度額:18,000 期間:R4年度
目的・取組内容									
第3次札幌市児童相談体制強化プランに基づく取組の実施									
					計	0	77,000	72,000	
事業内容									
子) 子ども育成部 ①【新規】困難を抱える若年女性支援 12,000 → 要求のとおり 様々な困難を抱えながらも地域や行政とのつながりのない若年女性を対象としたアウトリーチ型支援等の実施 ■事業内容：(1) アウトリーチ型支援(SNSによるアプローチ、繁華街での夜間見回り、関係機関へのつなぎ) (2) 居場所の確保(一時的な「安心・安全な居場所」(シェルター)の提供) (3) 自立支援(学校や家族との調整、就労支援など自立に向けた支援) (4) 関係機関の連携(行政機関、民間支援団体、医療機関などで構成される連携会議を設置) ■開始時期：R3.8月 } 民間支援団体に委託して実施 子) 児童相談所 ②【新規】子育てデータ管理プラットフォーム構築 65,000 → 60,000 【査定】経費の精査 児童相談所や区役所等の関係機関における情報共有の円滑化、迅速化等を図るためのプラットフォームの構築 (児童相談システム、家庭児童相談システム及び母子保健システムの情報を連携) ■実装される機能：(1) シェアリング(関係者間での情報共有) (2) リスクスコアリング(虐待リスクを点数化して要注意児童・世帯を抽出) ※ 現場での利用・検証を通じて段階的に機能を改良・拡充 ■利用開始：R3.7月									

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
保育所等整備関連	5,511,000 (902,272)	4,885,000 (283,874)	4,848,000 (267,874)	国庫支出金	① 公立保育所等整備	681,000	319,000	282,000	【特定財源】 国庫補助金 保育対策総合支援事業費 (補助率:8/9)…③ 国庫交付金 保育所等整備事業費 (交付率:8/9) …②~④ 認定こども園施設整備事業費 (交付率:2/3)…②
				市債	② 認定こども園整備補助	3,454,000	3,113,000	3,113,000	
目的・取組内容				計	③ 私立保育所整備等補助	1,289,000	1,404,000	1,404,000	保健福祉債 施設整備事業債…① (充当率:100%) (措置率:70%) 地域活性化事業債…① (充当率:90%) (措置率:27%) 社会福祉施設整備事業債…①~④ (充当率:80%) (措置なし) 一般補助施設整備等事業債…② (充当率:80%) (措置なし)
増加する保育ニーズに対応するための保育所、認定こども園等の整備				4,580,126	④ 地域型保育改修等補助	87,000	49,000	49,000	
事業内容						計	5,511,000	4,885,000	4,848,000

- ① 公立保育所等整備 319,000 → 282,000
【査定】経費の精査
仮称)中央区保育・子育て支援センター(ちあふる・ちゅうおう)等
- ② 認定こども園整備補助 3,113,000 → 要求のとおり
移行(9園)、新築(2園)
- ③ 私立保育所整備等補助 1,404,000 → 要求のとおり
新築(2園)、分園新築(1園)、増改築(2園)、賃貸型(13園)
- ④ 地域型保育改修等補助 49,000 → 要求のとおり
小規模保育事業所の新築(1園)

○公立保育所等整備スケジュール 設計等 工事

施設名	総事業費	R3予(千円)	R1	R2	R3	R4	R5
ちあふる・ちゅうおう	13億円	158,133					供用開始
ちあふる・にし等	8億円	123,867					供用開始

○R3年度 保育所等整備補助における定員増

施設区分	定員	件数	定員増数						
			内訳	内訳					
認定こども園	移行 幼保連携型(改築)	11	633	80人定員増	80				
				72人定員増	72				
				60人定員増	60				
				55人定員増	55				
				51人定員増	51				
				45人定員増	45				
				30人定員増	90				
				幼保連携型(新築)	180				
				私立保育所	新築	18	1,059	90人定員	180
								分園新築	29
増改築	60								
賃貸型	270								
小規模	新築	1	1	90人定員	300				
				60人定員	100				
				50人定員	120				
				40人定員	120				
合計			30	1,711					

(参考)待機児童の状況について

2020.4.1時点

国定義の待機児童数0人
国定義以外を含む待機児童数1,869人

2020.10.1時点

国定義の待機児童数299人
国定義以外を含む待機児童数2,401人

【債務負担行為】

公立保育所等整備
限度額:1,135,000
期間:R4年度

当初計上	2 子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり
------	-------------------------------------

子) 児 童 相 談 所
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
仮称)第二児童 相談所整備	32,000 (32,000)	258,750 (254,668)	242,000 (237,914)	国庫支出金	① 基本・実施設計	3,000	28,935	28,609	【特定財源】 国庫補助金 児童福祉事業等対策 費 (補助率:1/2)…② 雑入 保険料…②
				4,000	② 【拡充】仮設一時保護 所設置	15,781	225,280	208,856	
諸収入	③ 仮事務所	13,219	4,535	4,535					
計	4,086								
目的・取組内容					計				
増加する虐待通告や法令改正等に対応するため、仮称)第二児童相談所を整備									【債務負担行為】 仮称)第二児童相談所 整備 限度額:56,000 期間:R4年度

事業内容

① 基本・実施設計 28,935 → 28,609
【査定】経費の精査

仮称)第二児童相談所に係る基本・実施設計

《想定スケジュール》

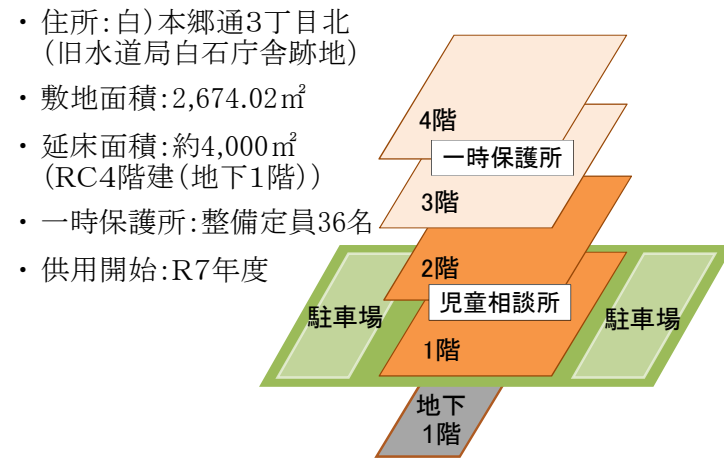
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
第二 児相	基本計画 強化プラン	基本・実施設計		工事		
仮設 一保	調査 業務	設計 工事	賃貸借			

② 【拡充】仮設一時保護所設置 225,280 → 208,856
【査定】経費の精査

仮称)第二児童相談所整備までの一時保護所の不足に対応するための
暫定施設の設置(リース物件の調達)

- ・延床面積:576.84㎡
- ・定員:20名
- ・供用開始:R3.11月

《整備概要(想定)》



- ・住所:白)本郷通3丁目北
(旧水道局白石庁舎跡地)
- ・敷地面積:2,674.02㎡
- ・延床面積:約4,000㎡
(RC4階建(地下1階))
- ・一時保護所:整備定員36名
- ・供用開始:R7年度

③ 仮事務所 4,535 → 要求のとおり
国の配置基準見直しに伴う職員増に対応するための仮事務所(民間ビル)の賃借

【総事業費】
仮称)第二児童相談所

事業期間	事業費
R3~R7	約27億円

令和3年度 除雪費概要

【除雪費】

(単位：千円)

	R2年度	R3年度	対前年比
除雪費 (一般財源)	22,034,987 (18,989,094)	21,702,266 (18,273,648)	▲332,721 98.5% (96.2%)
道路除雪費 (一般財源)	17,320,440 (15,731,933)	16,435,598 (14,873,095)	▲884,842 94.9% (94.5%)
雪対策関係費 (一般財源)	4,714,547 (3,257,161)	5,266,668 ※ (3,400,553)	+552,121 111.7% (104.4%)

※R3年1定補正からの繰越298,000千円を含む

【前年度からの増減】

- 新川融雪槽改修工事 +540,100千円
- バス路線排雪強化、凍結路面对策強化 +38,775千円
- 冬みちプランに基づく効率化等の取組 +28,000千円
(雪堆積場自動選定システム+46,434千円、各種調査・検討▲10,182千円、等)
- 労務単価、諸経费率等 +19,940千円
- 近年の少雪傾向等を考慮した減

▲846,517千円

【主な内容】

- ・新雪除雪の作業回数減(18回→14回) ▲429,140千円
- ・運搬排雪の単位排雪量10%減 ▲408,566千円

- 冬みちプランの推進による削減効果額 ▲70,876千円
(除雪車1人乗り化▲40,245千円、パートナーシップ排雪見直し▲20,748千円、等)
- 前年度単年事業分など ▲42,143千円

計 ▲332,721千円

【道路除雪費】

■車道除雪

- ・除雪計画延長 5,450km

■歩道除雪

- ・除雪計画延長 3,046km

■運搬排雪

- ・排雪計画延長 2,147km
- ・見通し改善のための交差点排雪 16,000か所

■パートナーシップ排雪

- ・制度利用延長 2,005km

■雪堆積場管理

- ・75か所

【雪対策関係費】

■ロードヒーティング関係

- ・施設の運用など(546か所)
- ・老朽化した施設の更新

■雪対策施設関係

- ・施設の運用など(流雪溝8施設、融雪施設11施設)
- ・老朽化した施設の改修
- ・新川融雪槽の能力増強に向けた改築工事

■除雪機械関係

- ・車両の点検、修繕など(419台)
- ・老朽化した車両の更新

■冬のみちづくりプラン推進

- ・冬みちプランに基づくICT活用の取組や実証実験、広報・啓発など

■冬みち地域連携事業

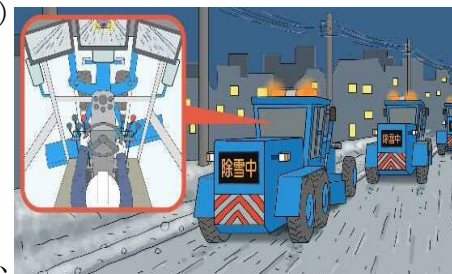
- ・協働の推進(除雪ボランティア活動への支援、小型除雪機の貸出し、雪体験授業など)



バス路線の排雪強化



新川融雪槽の能力増強(工事中)



除雪車の1人乗り化

当初・補正計上	2 子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり
---------	-------------------------------------

教) 生涯学習部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	(参考)	
			事業費	特定財源					補正分	15か月予算
学校施設整備関連	5,385,000 (1,931,814)	7,675,000 (2,796,085)	7,040,000 (2,747,513)	国庫支出金 1,354,487 市債 2,938,000 計 4,292,487	① 学校新築	2,839,000	8,000	8,000	0	8,000
					② 学校増築	451,000	82,000	82,000	0	82,000
					③ 学校改築	2,095,000	7,585,000	6,950,000	635,000	7,585,000
					計	5,385,000	7,675,000	7,040,000	635,000	7,675,000
目的・取組内容										
学校の新築・増築・改築										

事業内容	備考
------	----

① 学校新築
8,000 → 要求のとおり
家屋調査 1校

② 学校増築
82,000 → 要求のとおり
改修工事 1校

③ 学校改築
7,585,000 → 6,950,000

【査定】1定補正で635,000千円計上
改築工事 1年目(本町小、東山小)
2年目(発寒南小、二十四軒小)
解体工事 1年目(新陽小、山の手小)
2年目(栄中、本町小)
グラウンド造成工事(中央小)
実施設計 1年目(光陽小、発寒中)
2年目(東山小、山の手小、
元町北小)

【参考:改築基本設計(R3年予定)】
明園小、向陵中、定山溪中

《整備スケジュール》

(単位:千円)

設計等 ■■■■■ 工事(解体を含む) ■■■■■

事業名	学校名	総事業費	R3予算	R3.1定補正	H30	R1	R2	R3	R4	R5
新築	芸術の森小	37億円	8,000	0				家屋調査		
増築	札苗緑小	6億円	82,000	0						
改築	中央小	42億円	495,371	0						
	新陽小	35億円	483,931	19,000						
	発寒南小	36億円	2,292,924	60,000		仮設建設				
	栄中	32億円	438,009	0						
	本町小	38億円	101,936	430,000			仮設建設			
	二十四軒小	34億円	2,450,448	52,000						
	東山小	31億円	135,971	59,000						
	山の手小	39億円	344,331	15,000				仮設建設		
	元町北小	44億円	76,773	0						
	光陽小	28億円	56,085	0						
発寒中	37億円	74,221	0					仮設建設		
合計			7,040,000	635,000						

※総事業費は概算【R2年度まで:実績額、R3年度:予算額、R4年度以降:見積額】

【特定財源】
国庫負担金
小学校建築費
(負担率:1/2)…③
国庫交付金
学校建築費
(交付率:1/3)…③
教育債
学校教育施設等整備
事業債…③
(充当率:90%、75%)
(措置率:60%、7.5%、0%)

【債務負担行為】
学校施設整備に係る工
事・設計・工事監理等
限度額:5,752,000
期間:R4年度
限度額:37,000
期間:R4~5年度
限度額:107,000
期間:R4~6年度

当初計上	2 子どもを生み育てやすく、誰もが安心して暮らせる、やさしいまちづくり
------	-------------------------------------

教) 学 校 教 育 部

(単位:千円)

事 業 名	2 年 度 予 算 額 (一般財源)	3 年 度 要 求 額 (一般財源)	査 定 額		事 業 費 内 訳	前年度予算	要 求	査 定	備 考
			事 業 費	特 定 財 源					
公立夜間中学関係	2,000 (2,000)	56,000 (52,000)	46,000 (42,000)	国庫支出金 4,000	① 夜間中学用施設整備 ② 開設準備等	0 2,000	25,400 30,600	21,266 24,734	【特定財源】 国庫補助金 教育支援体制整備事業費 (補助率:1/3) ・・・②の一部 【債務負担行為】 給食調理等 限度額:7,000 期間:R4年度
目的・取組内容									
様々な事情により学校に行かないまま中学校を卒業した方などに対し、「学び直しの場」を提供するための公立夜間中学の設置に係る準備経費									
					計	2,000	56,000	46,000	
事 業 内 容									
<p>① 夜間中学用施設整備 25,400 → 21,266 【査定】経費の精査 教室、職員室の整備等</p> <p>② 開設準備等 30,600 → 24,734 【査定】経費の精査 R4.4月開校に向け、準備事務を行う開設準備室の設置及び普通教室・特別教室関係備品等の購入 ・ 開設準備室事務費等(R3.4月設置予定) 3,368 ・ 学校説明会(R3.8月実施予定) 744 ・ 普通教室・特別教室準備経費(机・椅子・教材等) 26,488 → 20,622</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【公立夜間中学 概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○場所：資生館小学校内 ○開校：R 4. 4月 ○学校規模：1 学年 1 学級 ○授業日：週 5 日 (17:30頃始業、21:00頃終業) ○入学対象：学齢期を過ぎた者で以下の要件を満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校を卒業していない人、または不登校等の理由により十分に学ぶことができなかった人 ・ 原則札幌市内に居住する人 </div>									

当初・補正計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
---------	--------------------------------

政) 政策企画部
政) 都市計画部
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	(参考)	
			事業費	特定財源					補正分	15か月予算
再開発事業関連	3,343,000 (428,450)	6,711,000 (1,330,000)	6,449,000 (1,283,000)	国庫支出金	① 再開発補助	2,579,000	5,576,000	5,350,000	226,000	5,576,000
				2,682,000	② 札幌駅交流拠点まちづくり推進	333,000	1,019,000	995,000	0	995,000
				2,795,000	③ 大通・創世交流拠点まちづくり推進	13,000	16,000	12,000	0	12,000
				市債	④ 新さっぽろ駅周辺まちづくり推進	418,000	100,000	92,000	0	92,000
				2,484,000	計					
目的・取組内容				2,586,000						
民間投資を最大限に活用し、都心周辺にふさわしい土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、民間再開発事業の施行者等への事業費補助や、都心や地域交流拠点などのにぎわいや活性化をもたらす官民連携によるまちづくりを推進				5,166,000						
				5,381,000						
				計		3,343,000	6,711,000	6,449,000	226,000	6,675,000

事業内容						備考
政) 都市計画部	① 再開発補助	5,576,000	→	5,350,000	【査定】1定補正に226,000千円計上	【特定財源】 国庫交付金 社会資本整備総合交付金 (交付率:1/2、1/3) 土木債 公共事業等債 (充当率:90%) (措置率:20%) 地方道路等整備事業債 (充当率:90%) (措置率:0%)
政) 政策企画部	② 札幌駅交流拠点まちづくり推進	1,019,000	→	995,000		②札幌駅交流拠点まちづくり推進 北5西1・西2地区想定スケジュール 基本設計 R2年度～R3年度 実施設計 R3年度～R5年度 都市計画決定 R4年度 工事着工 R5年度 工事竣工 R11年度
	■北5西1・西2地区準備組合負担金	990,000	→	970,000	【査定】事業内容の精査	
	■駅周辺エリアの街区間連携支援など	29,000	→	25,000	【査定】事業内容の精査	
	③ 大通・創世交流拠点まちづくり推進	16,000	→	12,000	【査定】経費の精査	
	創世交流拠点及び大通り沿道のまちづくりの検討支援					
政) 都市計画部	④ 新さっぽろ駅周辺まちづくり推進	100,000	→	92,000		
	■副都心団地7号線拡幅工事・確定測量	92,900	→	89,500	【査定】経費の精査	
	■エリアマネジメントの推進や現況調査	7,100	→	2,500	【査定】事業内容の精査	

当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

ス) 招 致 推 進 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
冬季オリンピック・パラリンピック招致関連	297,000 (292,000)	387,000 (382,000)	352,000 (347,000)	国庫支出金 5,000	① 招致機運醸成・教育推進等 ② 開催概要計画更新等 ③ 市民参加による開催概要計画検討 ④ 冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター誘致	55,000 230,000 10,000 2,000	134,000 241,900 10,000 1,100	99,000 241,900 10,000 1,100	【特定財源】 国庫委託金 オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業費 ・・・①(オリ・パラ教育)
目的・取組内容									
冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けた招致機運醸成、計画の更新等									
					計	297,000	387,000	352,000	
事業内容									
<p>① 招致機運醸成・教育推進等 134,000 → 99,000 【査定】経費の精査</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オリ・パラ教育推進のため、小学生を対象としたミュージアム訪問(60校) 14,680 ■ 札幌1972大会50周年事業や、東京・北京大会と連携した各種キャンペーン 60,300 <ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌1972大会をメインとした映像と「虹と雪のバラード」を用いたコンサート 15,000 ・ 北京2022大会期間中のシテイドレッシングやパブリックビューイング 15,000 ・ 過去の冬季大会の名シーンの投票企画等の各種キャンペーン 30,300 ■ 冬季オリンピック・パラリンピック招致への賛否の意向など市民アンケートを実施 3,000 ■ 東京・北京大会に合わせた渉外活動 21,020 <p>② 開催概要計画更新等 241,900 → 要求のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 開催概要計画更新・調査検討等 215,000 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設配置計画 ・ 大会運営(輸送、宿泊、警備等) ・ 持続可能性戦略 ・ 財務、マーケティング等 ■ IOCとの対話等 26,900 <p>③ 市民参加による開催概要計画検討 10,000 → 要求のとおり 計画を広く市民にお知らせする観点からワークショップを開催し、そこで得られた市民意見を計画に反映</p> <p>④ 冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター誘致 1,100 → 要求のとおり アスリートと協力した冬季版ハイパフォーマンススポーツセンターの誘致</p>									

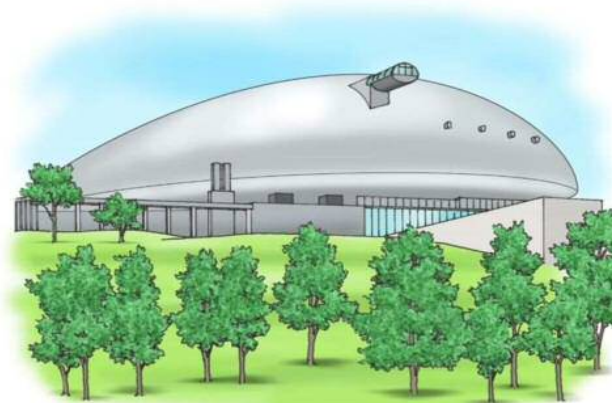
当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

ス) 招 致 推 進 部
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
札幌ドーム周辺 活用推進	93,000 (93,000)	39,300 (39,300)	37,000 (37,000)		① 基本計画策定等	13,865	25,200	23,725	
					② 基礎調査	79,135	14,100	13,275	
目的・取組内容									
スポーツや集客交流産業の振興に関わる高次機能交流拠点である札幌ドーム周辺について、将来的なあり方に関する具体的な検討等の推進									
					計	93,000	39,300	37,000	

事業内容

- ① 基本計画策定等 25,200 → 23,725 【査定】経費の精査
 札幌ドーム周辺エリアにおけるスポーツ交流拠点整備に関する基本計画策定
 ・ 基本計画策定 21,900
 ・ 有識者会議 3,300 → 1,825
- ② 基礎調査 14,100 → 13,275 【査定】経費の精査
 札幌ドーム周辺エリアにおける環境概況調査(動植物に関する状況把握)等を実施



当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

ス) 招 致 推 進 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
東京2020 オリンピック・ パラリンピック 開催	796,000 (22,870)	821,056 (103,247)	813,000 (21,442)	国庫支出金 82,429 繰入金 709,129 計 791,558	① 行政サービス等 ② オリ・パラ参画事業 ③ オリ・パラ体感事業 ④ 【新規】新型コロナウイルス感染症対策 ⑤ 事務費等 計	217,554 139,180 416,396 0 22,870 796,000	222,378 95,304 391,447 90,485 21,442 821,056	222,378 95,304 391,447 82,429 21,442 813,000	【特定財源】 国庫負担金 東京2020大会新型コ ロナウイルス感染症 対策事業費・・・④ (負担率:10/10) 基金繰入金 東京2020オリンピック・ パラリンピック開催準備 ・・・①②③
目的・取組内容									
東京2020オリンピック・パラリンピック開催									
事業内容									
① 行政サービス等 ・ 札幌市運営本部経費 ・ 沿道対策		36,160 55,964	222,378	→	要求のとおり ・ 救急・医療 ・ テストイベントの実施	60,254 70,000			
② オリ・パラ参画事業 ・ ボランティア関連 ・ 練習会場見学等		45,909 6,335	95,304	→	要求のとおり ・ 沿道応援促進 ・ 聖火リレー関連	39,040 4,020			
③ オリ・パラ体感事業 ・ 競技観戦(ライブサイト運営等) ・ シティドレッシング		295,911 69,198	391,447	→	要求のとおり ・ オリパラストリート設置 ・ 広報費	12,375 13,963			
④ 【新規】新型コロナウイルス感染症対策 ・ ボランティア等へPCR検査等 ・ 陽性者対応		46,161 44,324	90,485	→	82,429 【査定】経費の精査				
⑤ 事務費等		21,442		→	要求のとおり				

当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

保) 保 健 所
(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考	
			事業費	特定財源						
仮称)動物愛護センター整備	11,000 (5,500)	41,000 (5,617)	41,000 (5,617)	国庫支出金	① 実施設計等	0	41,000	41,000	【特定財源】 国庫補助金 動物収容・譲渡対策 施設整備費 (補助率:1/2) 保健福祉債 一般補助施設整備等 事業債 (充当率:75%) (措置なし)	
				20,383	② 基本設計等	11,000	0	0		
				市債						
				15,000						
目的・取組内容				計						
仮称)動物愛護センター整備に向けた実施設計				35,383						
					計	0	41,000	41,000		

事業内容

① 実施設計等 41,000 → 要求のとおり

■施設概要

- ・木造2階建て
- ・省エネルギー性能50%以上(ZEB Ready)を目指す
- ・延床面積:1,000㎡
- ・場所:北22条西15丁目
- ・しゅん工:R5秋頃
- ・主な施設内容(下線は新規、犬収容室は拡充)
個別相談室、多目的ホール、譲渡確認室、犬収容室、検疫室、処置室・検査室、
隔離・負傷動物室、トリミング室、事務室等
- ・現行の八軒本所は本施設しゅん工後に解体
- ・福移支所は火葬業務のみ継続

■スケジュール

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
基本設計	実施設計	契約手続等	建設工事 しゅん工 解体

【総事業費】

事業期間	事業費
R2~R5	約8.4億円

当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

経) 産 業 振 興 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
企業立地促進	1,020,000 (1,020,000)	805,000 (805,000)	722,000 (722,000)		① コールセンター・バックオフィス立地促進	217,800	272,000	222,000	
目的・取組内容					② IT・コンテンツ・バイオ立地促進	173,300	147,900	114,900	
企業誘致PR、立地企業や立地環境整備に対する補助等の実施					③ 札幌圏設備投資促進補助	603,837	322,369	322,369	
					④ 【新規】イノベーション拠点立地促進補助	0	30,000	30,000	
					⑤ 誘致広報関連・セミナー等	25,063	32,731	32,731	
					計	1,020,000	805,000	722,000	
事業内容									
<p>① コールセンター・バックオフィス立地促進 272,000 → 222,000 【査定】経費の精査 市内への本社機能移転やコールセンター、内部事務等を担う事務所(バックオフィス)等を新設又は増設する企業に対する補助 ・ H30年度:新設1件(5,400千円)、R元年度:新設4件(39,400千円)、R2年度:新設4件・増設2件(67,200千円)、R3年度:新設5 4件 (160,000 110,000千円)</p> <p>② IT・コンテンツ・バイオ立地促進 147,900 → 114,900 【査定】経費の精査 市内に、情報通信技術・デジタル技術・バイオ技術を活用した製品の研究・開発・製作を行う事業所を新設又は増設する企業に対する補助 ・ R元年度:新設1件・増設3件(22,000千円)、R2年度:新設6 2件(40,000 18,000千円)、R3年度:新設9 8件(85,900 74,900千円)</p> <p>③ 札幌圏設備投資促進補助 322,369 → 要求のとおり 市内を中心とした圏内に試験・研究・開発施設、工場、物流施設、データセンター等の新設又は増設するために、土地・家屋・償却資産への設備投資を行う企業に対する補助((土地・建屋投資額×0.6+償却資産投資額)×10%で算出) ・ R2年度:6件</p> <p>④ 【新規】イノベーション拠点立地促進補助 30,000 → 要求のとおり ウィズコロナ時代における新たな生活様式の影響や、首都圏企業等に対する地方都市の争奪の激化を踏まえた、札幌に首都圏・全国型企業のミニ拠点やスタートアップ系企業などが新規進出しやすいイノベーション拠点整備促進のための、改修費等補助 ・ 上限5,000千円×6件(補助率1/2以内)=30,000千円</p> <p>⑤ 誘致広報関連・セミナー等 32,731 → 要求のとおり 展示会出展料や広報、市内外の企業への需要調査による工業系用地の確保や企業訪問の実施等</p>									
								<p>※イノベーション拠点: 個人や複数の企業が共用するワークスペースであるコワーキングスペース等を想定</p>	

当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

経) 産 業 振 興 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
IT・DX推進関連	10,000 (10,000)	40,000 (35,000)	25,000 (20,000)	5,000	① 高校生への支援	4,350	5,000	5,000	【特定財源】 国庫交付金 地方創生推進交付金 (交付率:1/2)…①、 ②
					② イベント開催	5,650	5,000	5,000	
					③ 【新規】人材強化・育成プログラム	0	10,000	10,000	
					④ 【新規】セミナー・マッチング交流会等	0	5,000	5,000	
					⑤ 【新規】DX推進補助金	0	15,000	0	
					計	10,000	40,000	25,000	
事業内容									
<p>① 高校生への支援 5,000 → 要求のとおり ・ IT部へのメンター派遣や発表会等の実施 ・ ゲーム・アプリ開発等をテーマとした、高校生向けITセミナー</p> <p>② イベント開催 5,000 → 要求のとおり ・ 小中学生向けの大規模イベント</p> <p>③ 【新規】人材強化・育成プログラム 10,000 → 要求のとおり ウイズコロナ時代の産業をけん引できるトップエンジニアの輩出・定着を図るため、将来性のある若手エンジニアに対する伴走型指導・育成や研究開発費の助成等 ・ 研究開発費:1,000千円×5名 ・ 運営委託費:5,000千円</p> <p>④ 【新規】セミナー・マッチング交流会等 5,000 → 要求のとおり ・ DX推進セミナー:DXの必要性、方法、考え方等について普及促進セミナーを開催 ・ DXマッチング交流会:クラウドサービス事業者と他産業界企業とのマッチング交流会を開催</p> <p>⑤ 【新規】DX推進補助金 15,000 → 0 【査定】事業内容の精査 市内の中小企業がIT企業と共同で行うクラウドサービスの開発に係る費用を補助 ・ 補助上限:5,000千円/件、補助件数:3件、補助率:1/2</p>									

※DX(デジタルトランスフォーメーション):
「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念であり、デジタル技術を「手段」として、企業変革や新たな価値創造を進めること。

当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

経) 産 業 振 興 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
スタートアップ 創出支援	40,000 (40,000)	63,000 (63,000)	58,000 (58,000)		① 事務局運営委託等	34,730	37,730	37,730	【債務負担行為】 創業促進支援等 限度額:38,000 期間:R4年度
目的・取組内容					② Open Network Lab Hokkaido負担金	5,270	5,270	5,270	
「STARTUP CITY SAPPORO」事務局の運営などを通じた、札幌・北海道における新たな支援体制の構築及びスタートアップ企業の誘致・創出促進補助など各種支援策の実施					③ 【新規】推進協議会の運営	0	10,000	5,000	
					④ 【新規】誘致・創出支援補助	0	10,000	10,000	
					計	40,000	63,000	58,000	
事業内容									
<p>① 事務局運営委託等 37,730 → 要求のとおり 高校生・大学生向け起業体験プログラム、スタートアップ相談窓口、運営スタッフ人件費、オープンイノベーションに係る経費等</p> <p>② Open Network Lab Hokkaido負担金 5,270 → 要求のとおり 創業期のスタートアップ企業の育成等を実施</p> <p>③ 【新規】推進協議会の運営 10,000 → 5,000 【査定】経費の精査 内閣府によるスタートアップ・エコシステム拠点都市計画の推進拠点都市に採択されたことによる、「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」を中心とした札幌・北海道における支援のエコシステム構築</p> <p>④ 【新規】誘致・創出支援補助 10,000 → 要求のとおり スタートアップ企業の誘致・創出促進のための補助を実施 ・ 人件費300千円×5人×5件=7,500千円 ・ 開設費1,000千円×2件=2,000千円 ※開設費補助(補助率1/2)は指定施設(エレクトロニクスセンター、産業振興センター)入居に限る</p>									
<p>※スタートアップ: 革新的なアイデア・技術等をもとに、新しい形態のサービスやビジネスを展開する企業の中でも、短期間で急成長を志向する企業。</p> <p>※スタートアップ・エコシステム: 起業家、起業支援者、企業、大学、金融機関、公的機関等が結びつき、スタートアップを次々と生み出し、それがまた優れた人材・技術・資金を呼び込み、発展を続けることを生態系になぞらえたもの。</p>									

当初計上

3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり

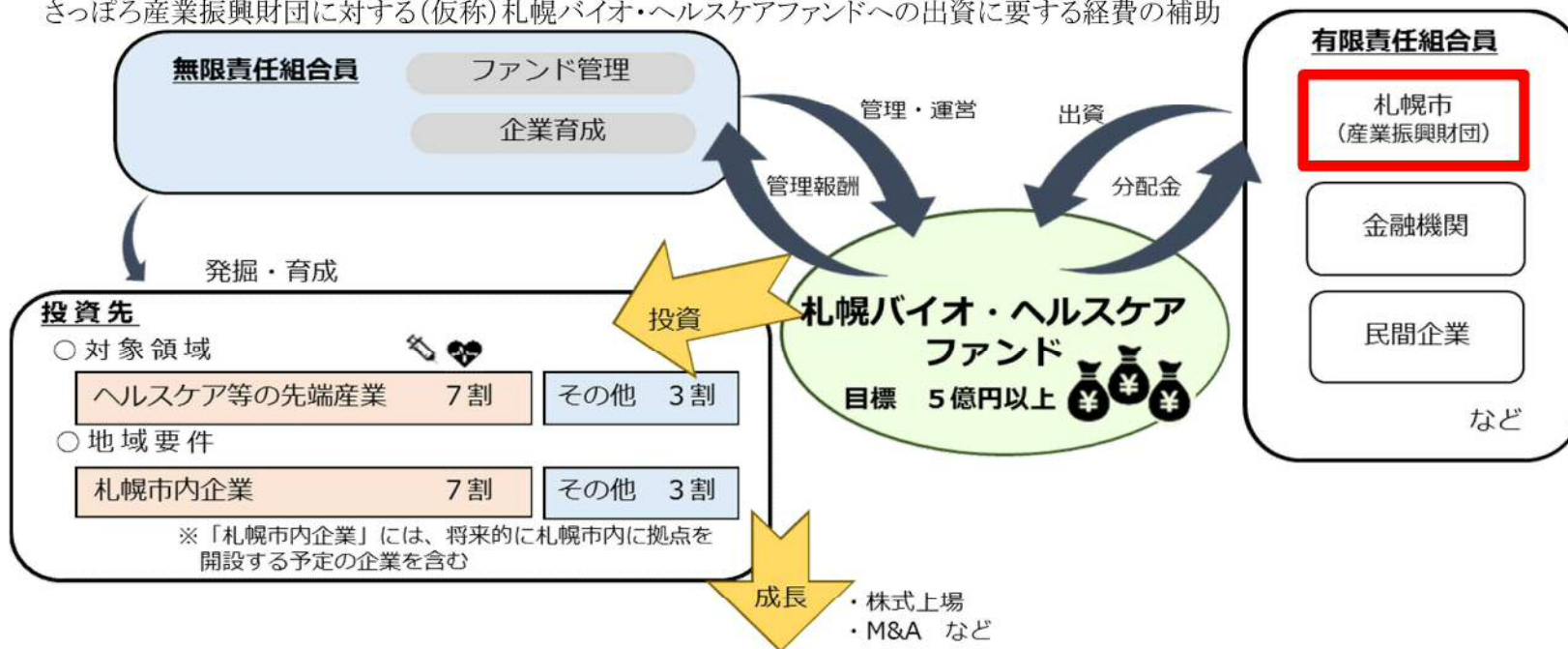
経) 産 業 振 興 部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
バイオベンチャー 育成支援	0 (0)	150,000 (150,000)	150,000 (150,000)		①【新規】ファンド創設 に係る出資補助	0	150,000	150,000	
目的・取組内容									
バイオベンチャーの起業の促進、事業拡大を目的とする官 民連携の地域ファンドの創設									
					計	0	150,000	150,000	

事業内容

①【新規】ファンド創設に係る出資補助 150,000 → 要求のとおり
さっぽろ産業振興財団に対する(仮称)札幌バイオ・ヘルスケアファンドへの出資に要する経費の補助



当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

経) 観光・MICE 推進部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
MICE 推進	162,000 (162,000)	175,000 (175,000)	163,000 (163,000)		① 委員会負担金・ビューロー運営費補助	103,800	104,000	104,000	※MICE: 企業等の会議 (Meeting)、報奨旅行 (Incentive Travel)、 国際会議・学術会議・ 学会等(Convention)、 展示会・イベント (Exhibition/Event)の 頭文字を取った、多く の集客交流が見込ま れるビジネスイベント 等の総称
目的・取組内容					② コンベンション誘致補助等	58,200	47,000	43,000	
見本市の出展、MICE誘致促進補助金、コンベンションビューロー運営費補助金、ハイブリッド会議開催に係る補助金等					③ 【新規】MICE市場の動向・ニーズ調査	0	14,000	6,000	
					④ 【新規】ハイブリッド会議への補助	0	10,000	10,000	
					計	162,000	175,000	163,000	
事業内容									
① 委員会負担金・ビューロー運営費補助 104,000 → 要求のとおり ・ MICE推進委員会負担金:MICE見本市出展等のプロモーション事業の実施 ・ コンベンションビューロー運営費補助:国際会議やインセンティブツアーの誘致プロモーション及び開催支援等									
② コンベンション誘致補助等 47,000 → 43,000 【査定】経費の精査 コンベンション誘致やインセンティブツアー補助、シャトルバス助成									
③ 【新規】MICE市場の動向・ニーズ調査 14,000 → 6,000 【査定】経費の精査 コンベンションの需要予測と効果的な誘致・誘客施策の検討									
④ 【新規】ハイブリッド会議への補助 10,000 → 要求のとおり コンベンションに通信機器の借上げ費用等の一部を補助 ・ 1,000千円×10件、補助率:1/2									
※ハイブリッド会議: 実会場とオンラインでの配信を合わせた新たな会議形態									

当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

環) 環境都市推進部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
水素エネルギー 利活用事業	10,000 (0)	12,000 (2,000)	10,000 (2,500)	特定財源 国庫支出金 7,500 10,000	① 【新規】計画策定 ② 利活用調査	0 10,000	12,000 0	10,000 0	【特定財源】 国庫補助金 水素エネルギー利活 用事業費 (補助率:3/4)
目的・取組内容									
再生可能エネルギーを活用した水素サプライチェーン構築 に向けた計画の策定									
					計	10,000	12,000	10,000	

事業内容

① 【新規】計画策定 12,000 → 10,000 【査定】経費の精査

水素サプライチェーン構築のための計画策定

■ R2年度の主な調査内容

- ・ 石狩市に建設予定の風力発電施設の余剰電力から製造可能な水素量
- ・ 将来の市内における需要量
- ・ モデル街区形成に向けたサウンディング調査

■ 想定スケジュール

- R3 計画策定
- R4以降 事業の実施(水素ステーション整備等)

② 水素ステーションの整備(民間公募)

集客交流施設へ水素を供給するほか、水素で走る燃料電池自動車(FCV)への水素供給を行う。

① 集客交流施設の整備(民間公募)

燃料電池を付設した集客交流施設を整備し、施設の電気と給湯、暖房の一部を水素エネルギーによりまかない、災害停電時でもその電気や熱が使用できるようにするとともに、水素に関する展示コーナーなど、ショーケース機能を持たせた施設とする。



当初計上	3 魅力活力にあふれ、困難を乗り越えて成長を続けるまちづくり
------	--------------------------------

建)みどりの推進部

(単位:千円)

事業名	2年度 予算額 (一般財源)	3年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
森林整備関連	0 (0)	23,000 (23,000)	21,000 (21,000)		①【新規】白旗山都市環境林基礎調査 ②【新規】森林整備補助	0 0	7,000 16,000	5,000 16,000	森林環境譲与税充当事業
目的・取組内容									
市内の森林整備を促進し温室効果ガスの削減を図るため、白旗山都市環境林の活用に関する各種調査や森林所有者等に対する補助の実施									
					計	0	23,000	21,000	

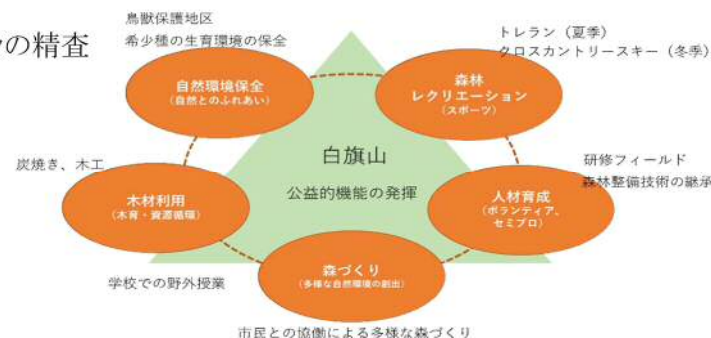
事業内容

①【新規】白旗山都市環境林基礎調査 7,000 → 5,000【査定】経費の精査
基本計画策定に向けた調査の実施

■調査項目

- ・航空写真による林層判読
- ・間伐の優先順位の検討
- ・現況調査等
- ・施業方法の検討

②【新規】森林整備補助 16,000 → 要求のとおり
市内における適正な森林整備を促進するため林業経営者等への各種補助制度を新たに創設



※森林経営計画・・・森林法第11条に基づく、森林経営の長期の方針等を記載した5年を1期とした計画

項目	補助対象者	補助対象経費	補助率(額)	見込件数	予算額
森林調査	林業経営者	森林経営計画※策定のための調査費用	天然林:32,000円/ha 人工林:16,000円/ha	1件 (30ha)	960千円 (30ha×32千円)
林業機械レンタル	森林所有者等	機械レンタル料	レンタル料の1/2	3件	2,400千円 (1,600千円/件×1/2×3件)
間伐	森林所有者等	間伐に係る経費	①森林経営計画あり:68% ②森林経営計画なし:40%	3件	4,651千円 ※標準経費で積算
森林作業道整備	森林所有者等	作業道整備・補修に係る経費	①森林経営計画あり:68% ②森林経営計画なし:40%	4件	8,748千円 ※標準経費で積算